

パターン情報処理と ユーザインタフェースへの応用



知的インタフェース工学講座
講師 中井 満

研究分野

パターン認識、ユーザインタフェース

研究内容

音声・文字・画像など、人間界で見るもの・聴くもののパターン情報をコンピュータで認識する研究をしています。人間と同じように処理できる知的なインタフェースの実現を目指しています。

私の研究のポイント

著しく崩れた文字を高速・高精度に認識する技術を研究しています。例えば、手のひらや空中に書いて文字を入力するという、新しいユーザインタフェースを可能にします。また、文字の筆順違いを判定する技術、字形のきれいさを評価する技術の開発も行っています。これらは認識用途のみならず、漢字学習支援システムにも応用できます。様々なパターンを認識し、ユーザが親しみやすいインタフェースを構築することが目標です。

REPORT レポート

手の動きで伝える情報を 処理する



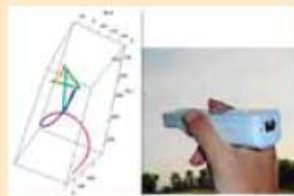
カメラの前で空中に書いた文字を認識



表面筋電位を使った手の動作識別



ペンの持ち方を利用した筆記者認証



加速度センサで空中に書いた文字を認識



筆順や文字の崩れを指摘するシステム